

研究彙報 (昭和58年1月～同12月)

主催 京都国立博物館

南禅寺の再興につとめた本光国師遷化三五〇年を記念して、南禅寺の名宝約一〇〇件を展示。

●特別陳列 (▽印は毎年の定例的な陳列)

阿刀家伝世の資料 四月十二日(火)～五月二十九日(日)

新館十五・十六号室

阿刀家より寄贈をうけた膨大な資料のなかから古文書・古記録、弘法大師坐像等を展示。

和鏡 七月五日(火)～八月二十八日(日)

新館十六号室 担当・稲田和彦

館蔵・寄託の代表的な和鏡を系統的に展示。

▽新収品展 七月十二日(火)～八月十四日(日)

新館十三号室・中央室

昭和五十七年度に管理換をうけたり、購入したり、岐阜の岡村家などから寄贈をうけた作品を展示。

風景文様の衣裳 十月四日(火)～十一月六日(日)

新館十四号室 担当・切畑 健

江戸時代中期の小袖、帷子類を中心に、自在な風景表現の様相をうかがう作品を展示。

古写経 十一月二日(水)～十一月二十七日(日)

新館十三号室 担当・下坂 守

守屋コレクションの古写経を中心に展示。

坂本龍馬の関係遺品 十一月二十日(日)～十二月十八日(日)

新館中央室 担当・難波田徹

血染懸軸など館蔵の関係遺品を一堂に展示。

●出版刊行

『京都国立博物館蔵品図版目録 書跡篇 日本』京都国立博物館 昭和五十八年

三月 担当 下坂 守

昭和五十七年十二月三十一日現在で当館が保管している書跡部門のうちの日本作品二九〇件を収録。A4版、収録図版二八九図、頒価四千元。

●特別展覧会 (○印は共催)

○弘法大師と密教美術展

会期 三月十九日(土)～五月五日(祝)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・真言宗各派総大本山会・朝日新聞社
昭和五十九年は弘法大師入定一一五〇年にあたるので、真言宗寺院に伝わる大師ゆかりの宝物や代表的な密教美術を選んで展覧会を構成した。

○ボストン美術館所蔵日本絵画名品展

会期 五月十七日(火)～六月二十六日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館・ボストン美術館・読売テレビ放送・読売新聞大阪本社
ボストン美術館東洋部の日本画コレクションのなかから名品八〇件を選び展示。

山水―思想と美術―

会期 十月四日(火)～十一月六日(日)

会場 京都国立博物館・本館

主催 京都国立博物館

中国・朝鮮・日本の絵画・彫刻・工芸・考古のなかから、すぐれた山水表現を選んで約一八〇件を展示。

●特別展観

南禅寺の名宝

会期 三月二十九日(火)～五月五日(祝)

会場 京都国立博物館・新館

『禪の美術』 京都国立博物館 昭和五十八年三月

昭和五十六年度特別展覧会「禪の美術」に出品の作品を中心とした図録で、論文七篇、図版解説、英文概説・目録を収める。B4版、図版原色三十九図、単色三二一図、頒価二万九千円。

『京都国立博物館 学叢』 第5号 京都国立博物館 昭和五十八年三月

京都国立博物館職員による研究紀要。論文二篇、作品研究三篇、修理報告三篇、特別寄稿論文一篇、研究叢報・昭和五十七年館員執筆物一覧・英文概要などを収録。A4版、図版原色七図、単色六十八図、頒価三千円。

『研究発表と座談会 禪と美術』 仏教美術研究上野記念財団助成研究会報告書第十冊 昭和五十八年三月

昭和五十六年十月二十七日に行われたシンポジウムの要約。A4版、本文二〇頁、禪宗伝来関係資料二十八頁、単色図版十二頁、頒価千七百円。

『山水—思想と美術—』 特別展覧会目録 京都国立博物館 昭和五十八年十月
昭和五十八年十月四日から十一月六日までを会期とする特別展覧会「山水—思想と美術—」の概説および解説付総目録。B5版、総頁数二〇九頁、収録図版原色十二図、単色二二三図、頒価千円。

●シンポジウム

研究発表と座談会「ポストン美術館の仏画と絵巻」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表者 林屋辰三郎）

期日 六月六日（月）

会場 京都国立博物館

参加者 一二七名

研究発表 法華堂根本曼陀羅（秋山光和）・大威徳明王像（濱田 隆）・馬頭観音像（平田 寛）・弥勒図像と鏡弥勒像（中野玄三）・吉備大臣入唐絵巻（若杉準治）・平治物語絵巻（宮 次男）

座談会（司会 清水善三）

研究発表と座談会「宗教思想と山水表現」

主催 仏教美術研究上野記念財団助成研究会（代表者 林屋辰三郎）

期日 十月十四日（金）

会場 京都国立博物館

参加者 七〇名

研究発表 キリスト教（名取四郎）・古代インド宗教（肥塚 隆）・仏教（中野玄三）・道教（井上 正）・神道（中村興二）

座談会（司会 百橋明穂）

第二回国際シンポジウム「アジアにおける山水表現」

主催 国際交流美術史研究会

期日 十月二十四日—三十一日

会場 京都国立博物館および求是荘

参加者 海外研究者五名・国内研究者十七名（館員含む）

●国内における調査研究

埋経と伝世写経の書風に関する比較研究

担当 難波田徹

袈裟における装飾性の展開

担当 切畑 健

法然上人絵伝（四十八巻伝）の構成と表現に関する研究

担当 若杉準治

京都府下の社寺調査

担当 伊東史朗

●海外における調査研究および出張

八賀 晋 昭和五十八年十一月十二日—同二十二日（行先 中華人民共和国）

特別展「中国陶備の美」の出品作品事前調査